

# サプライチェーン・マネジメント

お客様に高品質な製品を安定供給するためには、サプライチェーン・マネジメントが重要です。ダイキングループでは、すべての取引先様と強い信頼関係の中で、共に成長・発展する関係を作り上げるとともに環境・品質や労働安全、人権などのCSRにも配慮したサプライチェーンの構築に取り組んでいます。

## Why? なぜ重要か

グローバル化に伴い、サプライチェーンも世界各地に広がり、人権や児童労働・強制労働、安全衛生など労働上の問題、環境破壊などが問題視されるようになりました。また、こうしたサプライチェーン上の問題がある企業に対する不買運動などによって環境や社会的な課題を解決しようとする傾向も高まっています。企業は、自社のみならず、そのサプライチェーンも含めてCSRの取り組みを強化していく必要があります。

## DAIKIN'S POLICY

ダイキングループでは、1992年に購買基本方針を制定し、取引先様との公正な取引に努めています。グループ内にとどまらず、サプライチェーン全体を当社の社会的責任の範囲と捉え、環境に配慮したグリーン調達に加えて、サプライチェーンにおける、品質、人権、労働面などのCSR取り組みを推進しています。

## CSR調達の推進

### サプライチェーンCSR推進ガイドラインを策定

サプライチェーンにおける環境、人権、労働面などのCSR取り組みを推進しており、特にCO<sub>2</sub>排出量の把握と指定化学物質や紛争鉱物など国際的な規制対象物質の適正な管理に努めています。

2017年4月には、サプライチェーンCSR推進ガイドラインを策定しました。これは事業の安定的な継続・成長に向け、取引先様を含めたCSR推進のためのガイドラインです。経営や法令遵守などの一般的な要求に加え、環境保護、人権、労働安全衛生、紛争地域との取引禁止など、CSR全般にわたって取り組んでいくことを、取引先様にお願いします。

このサプライチェーンCSR推進ガイドラインは2017年度から施行し、取引先様に協力をお願いし、評価を行っていく予定です。



グローバル調達会議

### 取引先様の品質向上、人材育成、安全対策を支援

お客様に信頼いただける製品を提供するためには、取引先様の協力が欠かせません。ダイキングループは、すべての取引先様と強い信頼関係の中で切磋琢磨しながら、それぞれの立場で互いの期待に応え続け、共に成長・発展する関係づくりに努めています。国内外の拠点では、定期的に取り先様の生産現場における品質監査の実施や、品質改善に関する対話など取引先様と連携した品質向上に努めるとともに、技術力の向上を支援しています。また、安全に関する説明会を開催し、労働災害の未然防止を支援しています。

例えば、マッケイ中国(深圳)社では、2016年度に取り先様対象の品質管理研修を実施し、取引先様37社41名が参加しました。外部講師による講義や、品質管理についてのディスカッションを通じて、2017年度の品質管理活動の重点を明確にしました。



取引先様への品質管理研修